

研修会報告

平成26年
2月22日

周産期における医療事故

～安全を守る助産師の判断と責任～

勝村久司氏（患者本位の医療を確立する連絡会委員）

松井菜採氏（すずかけ法律事務所・弁護士）

大山泰明氏（株式会社損害保険ジャパン）

村上明美氏（神奈川県立保健福祉大学）

岡井 崇氏（愛育病院 院長）

香川秀之氏（関東労災病院）

横浜情報文化ホールにて研修会を行いました。



「損害賠償責任とその対応」 大山泰明氏



「妊産婦の家族の立場から」 勝村久司氏



「産科医療補償制度における原因分析と再発防止」
産科医師と助産師の見解
岡井 崇氏 村上明美氏



「弁護士の立場から」 松井菜採氏



座長 香川秀之氏

本研修会には、神奈川県内外から会員・非会員や学生も含め 200 名近くの参加がありました。講師の先生方からも「今日の問題を多面的にとらえ、意義のある素晴らしい会でした。神奈川県助産師会だけではもったいないですね。」という感想をいただきました。研修会終了後の懇親会も講師の先生方を囲んで意見交換ができ、大変盛り上がりしました。これからも皆さんのニーズに沿った研修会を開催していきたいと思っております。